

# 25年度 決算のあらまし

25年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案されました。

## 一般会計

市の財政の柱となる一般会計の25年度決算額は、最終予算額1367億8392万円に対し、歳入が1343億849万円（執行率98・2%）歳出が1327億5663万円（執行率97・1%）で、歳入歳出差し引き額は15億5186万円となりました。これから26年度へ繰り越す3916万円を差し引いた実質収支額は、15億1270万円の黒字となりました。

## 25年度決算の主な事業

函館市国際水産・海洋総合研究センターや函館アリーナの新築工事、千代台公園陸上競技場の改修工事、函館フットボールパーク整備の実施設計を行ったほか、東消防署南茅部支署の新築や東消防署恵山・榎法華統合出張所新築の用地購入・実施設計、五稜郭改良団地や校舎等の耐震改修実施設計および校舎等の耐震改修工事など、地域の振興・発展に配慮しつつ、都市基盤

や生活環境の整備等に努めました。

このほか、観光施策として、新たな観光基本計画を策定し、国内は首都圏や中部圏等、海外は東南アジア地域等において観光プロモーション

を実施したほか、「はこだてグルメサーカス」の開催、「青森ねぶたの海上運行」の実施等、観光イベントの充実に努めました。また、中心市街地や地域経済の活性化のため、「中心市

(単位：万円)

表1 25年度 一般・特別会計決算

会計別	収入済額(A)	支出済額(B)	差引額(A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越す財源(D)	実質収支額(C)-(D)	
一般会計	1,343億 849	1,327億5,663	15億5,186	3,916	15億1,270	
特別会計	港湾事業	52億7,061	52億2,968	4,093	1	4,092
	国民健康保険事業	351億2,245	352億5,408	△1億3,163		△1億3,163
	自転車競走事業	145億8,303	151億5,930	△5億7,627		△5億7,627
	奨学資金	4,036	3,640	396		396
	地方卸売市場事業	4億1,683	4億1,157	526		526
	介護保険事業	244億9,418	239億2,212	5億7,206		5億7,206
	風力発電事業	2,524	2,517	7		7
	母子寡婦福祉資金	2億 218	9,665	1億 553		1億 553
	後期高齢者医療事業	38億7,488	37億9,424	8,064		8,064
	小計	840億2,976	839億2,921	1億 55	1	1億 54
合計	2,183億3,825	2,166億8,584	16億5,241	3,917	16億1,324	

街地活性化基本計画」に基づき、歩行者用案内サイン等を設置し回遊性の向上に努めたほか、「函館駅前若松地区市街地再開発事業費補助金」や「中心市街地出店促進補助金」、「元氣いっぱい商店街等支援交付金」、「ヤングファミリー住まいりぐ支援事業補助金」などを交付しました。

## 今後の行財政運営

少子高齢化や人口の減少などにより、今後においても厳しい財政運営を強いられることが予測されるため、24年度に策定した「函館市行財政改革プラン2012」に基づき、これまで以上に効率的な行財政運営に努め、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

## 特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から分離して収支経理を行っています。

25年度特別会計決算は、表1のとおりですが、国民健康保険事業特別会計および自転車競走事業特別会計では、赤字となっています。この不足分は、26年度の収入から繰り上げて充用し、補てんしてい

ます。なお、港湾事業特別会計では、大町地区緑地（緑の島）において、多目的広場などの整備を行いました。

## 企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

25年度企業会計決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金49億9333万円が支出されています。

## 都市基盤の整備

市では厳しい財政状況にもかかわらず、都市基盤の整備に力を注いでいます。

25年度末では下水道普及率90・0%（前年比0・2%増）、道路舗装率75・4%（前年比0・4%増）となっています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ 財政課

☎ 21・3527

1年間に市民1人当たりが負担する  
市税の金額

119,232円

市民1人当たりの決算額

<p><b>民生費</b></p> <p>福祉の充実などに</p> <p>178,838円</p>	<p><b>土木費</b></p> <p>道路や公園の整備などに</p> <p>36,082円</p>
<p><b>商工費</b></p> <p>経済・観光振興などに</p> <p>21,060円</p>	<p><b>教育費</b></p> <p>学校施設の整備などに</p> <p>30,044円</p>
<p><b>衛生費</b></p> <p>清掃事業や保健対策などに</p> <p>29,603円</p>	<p><b>総務費</b></p> <p>企画調整や税務、地域活動、防災活動、大学の運営などに</p> <p>35,579円</p>
<p><b>消防費</b></p> <p>消防施設の整備などに</p> <p>3,864円</p>	<p><b>公債費</b></p> <p>借入金の返済などに</p> <p>53,329円</p>
<p><b>職員費</b></p> <p>職員の給与などに</p> <p>64,119円</p>	<p><b>その他</b></p> <p>議会費、労働費、農林水産費、諸支出金など</p> <p>34,609円</p>

※金額は、一般会計の決算額を26年3月31日現在の人口27万2,530人で割ったものです。

25年度 一般会計決算内訳

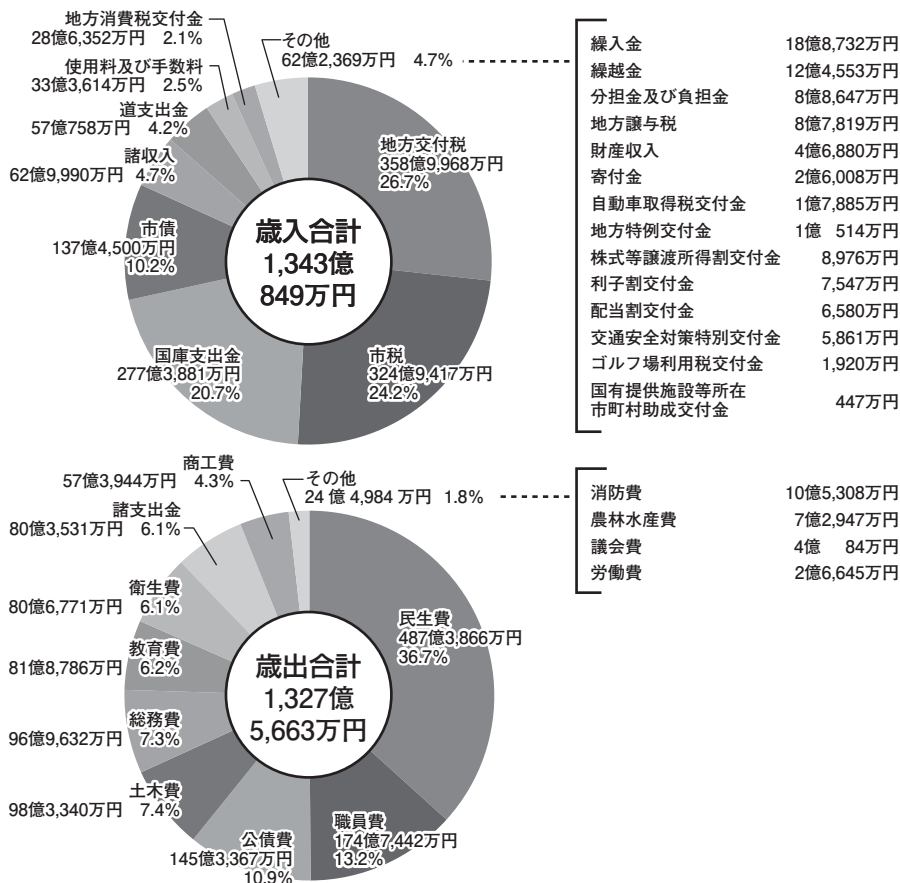


表2 25年度 公営企業会計決算

(単位：万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益 純損失	不良債務 (注)	一般会計からの繰入金
水道事業	収入	46億 725	12億7,582	2億9,932	△22億4,706
	支出	42億5,405	28億5,827		
温泉事業	収入	4億6,172	4億9,582	3億5,744	△270
	支出	1億 722			
公共下水道事業	収入	58億9,192	34億8,901	6億8,077	△17億3,718
	支出	51億6,188	57億2,026		
交通事業	収入	14億 499	4億7,016	1億8,482	2億8,753
	支出	12億1,326	5億5,924		
病院事業	収入	192億 538	25億1,237	△2億1,756	△4,731
	支出	194億2,046	32億 23		
合計	収入	315億7,126	77億4,736	13億 479	△37億4,672
	支出	301億5,687	128億3,382		

(注) 不良債務の△は、不良債務を生じていない状況を示します。

健全化判断比率および資金不足比率の公表

財政健全化法により、各指標が基準を超えた場合、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなっています。25年度決算での指標の状況は、右図のとおりです。詳細は市のHPに掲載しています。

**健全化判断比率** 全ての指標で基準を下回っています。

**資金不足比率** 全ての会計で基準を下回っています。

いずれの指標も基準以内となっていますが、これらはひとつの目安に過ぎないことから、今後も厳しい状況の中、さらなる財政の健全化を図っていきます。

お問合せ 財政課 ☎21-3543

★…25年度決算の状況

